

# 2026年度

木之庄町一丁目及び木之庄町三丁目地内

木之庄雨水貯留施設基本設計業務委託

当 初		
業 務 概 要	測量業務	
	4級基準点測量	N=6点
	仮BM設置測量	L=0.26km
	縦断測量	L=0.26km
	横断測量	L=0.26km
	現地測量	一式
	設計業務	
管路施設実施設計業務(基本設計)	一式	

# 特記仕様書

## 1. 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は「業務委託標準仕様書」の第1章1.1及び1.2に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は、前記標準仕様書による。

## 2. 業務の対象

- (1) 名称 木之庄雨水貯留施設基本設計業務委託
- (2) 位置 福山市 木之庄町一丁目及び木之庄町三丁目地内
- (3) 排水面積 約 19.6 ha

## 3. 業務の内容

### 3.1 実施設計（基本設計）

項目	設計条件
場所	福山市 木之庄町一丁目及び三丁目地内
対象面積	約19.6ha
設計対象	分流式 雨水のみ
報告書作成	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
設計協議	中間打合せ3回（測量含む）

本業務は、木之庄地区の浸水解消のため、雨水貯留施設の導水渠について基本設計を行うものである。

### 3.2 測量業務

測量業務において、本特記仕様書に記載なき事項は、「測量業務共通仕様書（令和7年8月）広島県」によるものとする。

項目	単位	数量
○基準点測量		
4級基準点測量	点	6
○路線測量		
仮BM設置測量	km	0.26
縦断測量	km	0.26
横断測量 幅45m未満 測定間隔20m	km	0.15
横断測量 幅60m 測定間隔20m	km	0.11
○現地測量		
現地測量 A=0.006km <sup>2</sup> S=1/500	式	1

## 4. その他

### (1) 提出図書

本業務委託における提出図書については、「管路施設実施設計業務委託 標準仕様書」に準ずるものとするが、電子成果品（CD-R等）については監督員と協議の上、枚数やファイル形式等の詳細を決定するものとする。  
なお、測量業務も含め、受注者において業務計画書へ最終成果として納品する全ての提出図書を記載し、その項目について監督員の確認を受けること。

### (2) 電子納品

本業務委託は、電子納品対象外とする。

### (3) その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、本業務において疑義が生じた場合は、その都度速やかに監督員と協議を行い、指示を受けること。

# 業務委託標準仕様書

## 第1章 総 則

### 1. 1 業務の目的

本委託業務（以下「業務」という。）は、本仕様書に基づいて、特記仕様書に示す委託対象施設の工事を実施するために必要な設計図、計算書、設計書等の作成を行うことを目的とする。

### 1. 2 一般仕様書の適用

業務は、本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

### 1. 3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

### 1. 4 法令等の遵守

受注者は、業務の実施に当たり、関連する法令等を遵守しなければならない。

### 1. 5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するように努めなければならない。

### 1. 6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

### 1. 7 公益確保の責務

受注者は、業務を行うに当たっては公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することのないように努めなければならない。

### 1. 8 許可申請

受注者は、工事に必要な許可申請（計画通知等）に関する事務に必要な図書作成を遅滞なく行わなければならない。

### 1. 9 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了に当たって、発注者の契約約款に定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

- (イ) 工程表
- (ロ) 管理技術者届
- (ハ) 完了届
- (ニ) 納品書
- (ホ) 業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

### 1. 10 管理技術者及び技術者

(1) 受注者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しい業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

(2) 管理技術者は、技術士法（昭和58年法律第25号）に規定する技術士（総合技術監理部門（上下水道一下水道）又は、上下水道部門（下水道））の資格、又は、RCCM（下水道）の資格を有するものとし、業務の全般にわたり技術的管理を行わなければならない。なお、主要な設計協議及び現地調査に出席しなければならない。

(3) 受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

### 1. 11 工程管理

受注者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

### 1. 12 成果品の審査及び納品

(1) 受注者は、成果品完成後に発注者の審査を受けなければならない。

- (2) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。
- (3) 業務の審査に合格後、成果品一式を納品し、発注者の検査員の検査をもって、業務の完了とする。
- (4) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受託者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

#### 1. 1.3 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

#### 1. 1.4 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

#### 1. 1.5 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない場合については、発注者、受注者協議の上、これを定める。

### 第2章 調査

#### 2. 1 資料の収集

業務上必要な資料、地下埋設物及びその他支障物件（電柱、架空線等）については、関係官公署、企業者等において将来計画を含め十分調査しなければならない。

#### 2. 2 現地踏査

特記仕様書に示された設計対象区域について踏査し、地勢、土地利用、排水区界、道路状況、水路状況等現地を十分に把握しなければならない。

#### 2. 3 地下埋設物調査

特記仕様書に示された設計対象区域について、水道、下水道、ガス、電気、電話等地下埋設物の種類、位置、形状、深さ、構造物等をそれらの管理者が有する資料と照合し、確認しなければならない。

#### 2. 4 公私道調査

道路、水路等について公図及び土地台帳により調査確認しなければならない。

#### 2. 5 在来管調査

在来管調査は、2. 3 地下埋設物調査で行う範囲を超える調査であり、管路、マンホール及びますの老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、底高等現地作業を伴うものをいう。当該調査は別途計上とする。

#### 2. 6 既設管調査

管路内調査は、TVカメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査図書に基づき管内にて管きよの劣化状況や堆積物等の有無を把握する調査であり、管きよの老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、支障物件の状況等現地踏査を伴うものをいう。TVカメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査は別途形状とする。

また、測量調査によって既設管きよ及びマンホールの諸元を確認しなければならない。

#### 2. 7 現場環境調査

道路状況、周辺状況を現地にて把握し、工事の実施における制約条件を確認しなければならない。

### 第3章 設計一般

#### 3. 1 打合せ

- (1) 業務の実施に当たって、受託者は係員と密接な連絡を取り、その連絡事項をそのつど記録

し、打合せの際、相互に確認しなければならない。

(2) 設計業務着手時及び設計業務の主要な区切りにおいて、受注者と発注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

### 3. 2 設計基準等

設計に当っては、発注者の指示する図書及び本仕様書第8章参考図書に基づき、設計を行う上でその基準となる事項について発注者と協議の上、定めるものとする。

### 3. 3 設計上の疑義

設計上疑義の生じた場合は、係員と協議の上、これらの解決に当たらなければならない。

### 3. 4 設計の資料

設計の計算根拠、資料等は全て明確にし、整理して提出しなければならない。

### 3. 5 事業計画図書の確認

受注者は、第2章調査の各項の調査等と併せて、設計対象区域にかかる事業計画図書の確認をしなければならない。

### 3. 6 参考資料の貸与

発注者は、業務に必要な下水道事業計画図書、測量、土質調査資料、既設管資料、在来管資料、道路台帳、地下埋設物調査、下水道標準構造図等の資料を所定の手続によって貸与する。

### 3. 7 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

## 第4章 設計細則（基本設計）

### 4. 1 設計図の作成

主要な設計図は、下記により作成することとし、図面完成時には発注者の承認を受けなければならない。

#### (1) 位置図

位置図（S=1/10,000～1/30,000）は地形図に設計区域又は設計区間を記入する。

#### (2) 区画割施設平面図

区画割施設平面図（S=1/2,500）は、事業計画において作成した区画割図面に基づいて枝線の区画割を行い、設計区間又は設計区間の区間番号、形状、管径、勾配、区間距離、区間の面積及び幹線・排水区又は処理区等の名称を記入すること。

#### (3) 縦断面図

縦断面図（S=縦1/100、横1/2,500）は、区画割施設平面図と同一記号を用いて次の事項を記入すること。

管きよの位置、平面図との対照番号、形状、管径、勾配、区間距離、地盤高、管底高、土被り及び河川、鉄道、国道等の位置と名称、位置・形状、寸法等及び河川の現在と計画の底高、高水位並びに幹線、処理区等の名称を記入すること。

#### (4) 流量計算表

流量計算表は、事業計画において作成された流量表に基づいて、管きよの断面、勾配を決定し、起終点の管底高、地盤高、土被り、流入管記号を記入すること。

#### (5) 概略構造図

概略構造図（S=1/50～1/100）は次の要領で作成する。

発注者の下水道標準構造図によるものは作成を要しないが、次のような特殊構造の物は、縦断面図と同一記号を用いて図面を作成する。

特殊なマンホール、接続室、雨水吐室及び吐口、伏越等特に構造図を必要とするものについて概略の形状図を作成する。

#### 4. 2 概略工法検討

概略工法検討業務は、設計対象路線の管布設工法（開削、推進、シールド）の選定を行うものである。ただし、個所別詳細な工法の検討は詳細設計で行うものとする。

#### 4. 3 報告書

報告書は、当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし、その内容は、位置、設計の目的、調査・計画の概要、設計計画、概略工法検討等を集成するものとする。

### 第5章 設計細則（新設及び改築・詳細設計）

#### 5. 1 設計図の作成

主要な設計図は、下記により作成することとし、図面完成時には係員の承認を受けなければならない。

##### (1) 位置図

位置図（ $S=1/10,000\sim 1/30,000$ ）は地形図に施工箇所を記入する。

##### (2) 系統図

系統図（ $S=1/2,500$ ）は、地形図に設計区間を記入する。

##### (3) 平面図

平面図（ $S=1/500$ ）は、測量による平面図及び道路台帳に基づいて、設計区間の占用位置、マンホール及び立坑の位置・管きよの区間番号、形状、管径、勾配、区間距離及び管きよの名称等を記入する。

##### (4) 詳細平面図

詳細平面図（ $S=1/50\sim 1/100$ ）は主要な地下埋設物さくそう箇所、重要構造物近接箇所及び河川、鉄道、国道等横断箇所等特に詳細図を必要とし、発注者が指示する場合に平面図及び横断面図を作成する。

##### (5) 縦断面図

縦断面図（ $S=$ 縦 $1/100$ 、横 $1/500$ ）は、平面図と同一記号を用いて次の事項を記入する。

管きよの位置、平面図との対照番号、形状、管径、勾配、区間距離、地盤高、管底高、土被り、マンホールの種別及び河川、鉄道、国道等の位置と名称、流入及び交差する管きよの位置、番号、形状、管径、管底高、主要な地下埋設物の名称、位置、形状、寸法等及び管きよの名称等を記入する。

##### (6) 横断面図

横断面図（ $S=1/50\sim 1/100$ ）は、平面図と同一記号を用いて次の事項を記入する。

管きよの位置、平面図との対照番号、形状、管径、地盤高、管底高及び必要な地下埋設物の名称、位置、形状、寸法等及び管きよの名称又は横断位置の名称等を記入する。

##### (7) 構造図

構造図（ $S=1/10\sim 1/100$ ）は、次の要領で記入する。

発注者の下水道標準構造図によるものは作成を要しないが、次のような特殊構造の物は、縦断面図と同一記号を用いて図面を作成する。

特殊な布設構造図、接続室、雨水吐室及び吐口、伏越、特殊な形状のマンホール及びます等特に構造図を必要とし、仕様書に明記されているもの。

##### (8) 仮設図

仮設図（ $S=1/10\sim 1/100$ ）は、次の要領で記入する。

仮設図は、構造図と同一記号を用いて作成する。

設計図には、掘削幅、長さ、深さ、地盤高、床掘高及び使用する材料の位置、名称、形状、寸法、他の地下埋設物防護工並びに補助工法の範囲、名称等を記入する。

## 5. 2 各種計算

管きょ、管基礎、推進力及び構造計算、仮設計算、補助工法、耐震設計等の計算に当たっては、発注者と十分打合せの上、計算方針を確認して行わなければならない。

## 5. 3 数量計算

土工、管、管基礎、覆工等及び構造物、仮設、補助工法、事前事後処理等材料別に数量を算出する。

## 5. 4 報告書

報告書は、当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし、その内容は、設計の目的・概要・位置、設計項目、設計条件、土質条件、埋設物状況、施工方法、工程表等を集成するものとする

# 第6章 照 査

## 6. 1 照査の目的

受注者は業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないよう努めなければならない。

## 6. 2 照査の体制

受注者は遺漏なき照査を実施するため、技術士法（昭和58年法律第25号）に規定する技術士（総合技術監理部門（上下水道一下水道）又は、上下水道部門（下水道））の資格、又は、RC CM（下水道）の資格を有する照査技術者を配置しなければならない。

## 6. 3 照査事項

受注者は設計全般にわたり、以下に示す事項について照査を実施しなければならない。

(1) 基本条件の確認内容について

(2) 比較検討の方法及びその内容について

(3) 設計計画（設計方針及び設計手法）の妥当性について

(4) 計算書（構造計算書、要領計算書、数量計算書、耐震設計計算書等をいう。）について

(5) 計算書と設計図の整合性について

# 第7章 提出図書

## 7. 1 提出図書

提出図書は次項により、提出しなければならない。

## 7. 2 実施設計管径提出図書（基本設計）

(1)	位置図	A 4判又はA 3判製本	3部
(2)	区画割施設平面図	〃	
(3)	縦断面図	〃	
(4)	流量計算表	〃	
(5)	概略構造図	〃	
(6)	概略工法検討書	A 4判製本	3部
(7)	報告書	〃	
(8)	打合せ議事録	〃	
(9)	その他参考資料（地下埋設物調査資料他）	原稿	一式
(10)	電子成果品		一式

## 第8章 参考図書

### 8. 1 参考図書

業務は、下記に掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。

- (1) 発注者の下水道構造標準図
- (2) 発注者の下水道設計基準
- (3) 発注者の道路埋設標準規定
- (4) 下水道施設計画・設計指針と解説（日本下水道協会）
- (5) 下水道維持管理指針（         "         ）
- (6) 小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説（         "         ）
- (7) 下水道管路施設設計の手引（         "         ）
- (8) 下水道施設の耐震対策指針と解説（         "         ）
- (9) 下水道施設耐震計算例－管路施設編－（         "         ）
- (10) 下水道推進工法の指針と解説（         "         ）
- (11) 管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン（案）（         "         ）
- (12) 下水道マンホール安全対策の手引き（案）（         "         ）
- (13) 水理公式集（土木学会）
- (14) コンクリート標準示方書（         "         ）
- (15) トンネル標準示方書（シールド工法編）・同解説（         "         ）
- (16) トンネル標準示方書（山岳工法編）・同解説（         "         ）
- (17) トンネル標準示方書（開削工法編）・同解説（         "         ）
- (18) 道路技術基準通達集（国土交通省）
- (19) 道路構造令の解説と運用（日本道路協会）
- (20) 道路土工－仮設構造物工指針－（         "         ）
- (21) 道路土工－擁壁工指針（         "         ）
- (22) 道路土工－カルバート工指針－（         "         ）
- (23) 共同溝設計指針（         "         ）
- (24) 道路橋示方書・同解説（         "         ）
- (25) 水門鉄管技術基準（電力土木技術協会）
- (26) 改訂新版建設省河川砂防技術基準（案）同解説（日本河川協会）
- (27) 港湾の施設の技術上の基準・同解説（日本港湾協会）

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 70 福山市 00-08.05.01(0)  2 委託	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
発注区分	当世代 41 建設コンサル	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 測量業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
測量業務費					X1000
測量業務標準歩掛					Y2A01 レベル1
基準点測量	1	式			Y2A0102 レベル2
4級基準点測量	1	式			Y2A010204 レベル3
4級基準点測量(永久標識設置なし)	1	式			Y2A01020401 レベル4
3・4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし・伐採なし	6	点			SC006 00 単第0 -0001 表
路線測量	1	式			Y2A0104 レベル2
路線測量	1	式			Y2A010401 レベル3
作業計画					Y2A01040101 レベル4
		式			

# 測量業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路線測量(作業計画) 測量延長 0.26km	1	業務			SC082 00 単第0 -0002 表
仮BM設置測量	1	式			Y2A01040108レベル4
仮BM設置測量 市街地乙/平地	0.26	km			SC090 00 単第0 -0003 表
縦断測量	1	式			Y2A01040109レベル4
路線測量(縦断測量) 市街地乙/平地	0.26	km			SC074 00 単第0 -0004 表
横断測量	1	式			Y2A01040110レベル4
路線測量(横断測量) 幅 45m未満 測定間隔 20m	0.15	km			SC076 00 単第0 -0005 表
路線測量(横断測量) 幅 45m以上~75m未満 測定間隔 20m	0.11	km			SC076 00 単第0 -0006 表
現地測量	1	式			Y2A0109 レベル2

# 測量業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現地測量					Y2A010901 レベル3
	1	式			
現地測量(作業計画)					Y2A01090101 レベル4
	1	業務			
現地測量(作業計画) 市街地乙/平地 縮尺 1/500					SC090101010 00
	1	業務			単第0 -0007 表
現地測量					Y2A01090102 レベル4
		km2			
現地測量 測量面積0.006km2 市街地乙/平地 縮尺 1/ 500					SC000023 00
	1	式			単第0 -0008 表
人件費等・材料費・機械経費・技術管理費					
直接経費					Z0001
旅費交通費					YZZ0101 レベル2
	1	式			
旅費交通費					YZZ010101 レベル3
	1	式			

# 測量業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
旅費交通費	1	式			YZZ01010101 レベル4
旅費交通費(測量)	1	式			SZZ0101X1 00 単第0 -0009 表
電子成果品作成費	1	式			YZZ0103 レベル2
電子成果品作成費	1	式			YZZ010301 レベル3
電子成果品作成費	1	式			YZZ01030101 レベル4
電子成果品作成費(測量)	1	式			SZZ0103X1 00 単第0 -0010 表
安全費	1	式			YZZ0105 レベル2
安全費	1	式			YZZ010501 レベル3
安全費	1	式			YZZ01050101 レベル4

# 測量業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費(測量) 市街地乙・都市近郊					S2Z0105X1 00
	1	式			単第0 -0011 表
* * 直接測量費 * *					
諸経費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 業務価格 * *					
消費税等相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 測量業務費 * *					

# 設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計業務費					X3000
設計業務等標準歩掛					Y2C02 レベル1
共通	1	式			Y2C0201 レベル2
打合せ等	1	式			Y2C020101 レベル3
打合せ等	1	式			Y2C02010101 レベル4
設計協議	1	式			V000000800 00 単第0 -0012 表
管路施設設計	1	式			Y2C0202 レベル2
管路施設実施設計	1	式			Y2C020201 レベル3
実施設計（基本設計）	1	式			Y2C02020101 レベル4
	1	式			

# 設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路施設実施設計業務（基本設計） 分流式（雨水のみ）	1	式			V000000100 00  単第0 -0013 表
報告書作成（基本設計）	1	式			V000000200 00  単第0 -0022 表
** 直接人件費 **					
直接経費					Z0001
旅費交通費	1	式			YZZ0101 レベル2
旅費交通費	1	式			YZZ010101 レベル3
旅費交通費	1	式			YZZ01010101 レベル4
旅費交通費（設計）	1	式			S2Z0101X3 00  単第0 -0023 表
電子成果品作成費	1	式			YZZ0102 レベル2

# 設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電子成果品作成費	1	式			YZZ010201 レベル3
電子成果品作成費	1	式			YZZ01020101 レベル4
電子成果品作成費(設計) 概略設計, 予備設計及び詳細設計	1	式			S2Z0102X3 00  単第0 -0024 表
** 直接原価 **					
その他原価 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 間接原価 **					
** 業務原価 **					
一般管理費等 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 業務価格 **					



# 施工単価表

3・4級基準点測量  
新点35点 永久標識設置なし・伐採なし

SC006

単第0 -0001 表

1 点 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量技師 (外業)	5.5	人			外業
測量技師補 (外業)	5.5	人			外業
測量助手 (外業)	7.0	人			外業
測量主任技師	1.0	人			内業
測量技師	2.5	人			内業
測量技師補	2.5	人			内業
測量助手	1.0	人			内業
直接人件費計					
機械経費	2.5	%			#01 直接人件費 × 率
材料費	2.0	%			#02 直接人件費 × 率
通信運搬費等	2.5	%			#03 直接人件費 × 率
精度管理費	9	%			#04 (直接人件費+機械経費) × 係数

# 施工単価表

3・4級基準点測量

SC006

単第0 -0001 表

新点35点 永久標識設置なし・伐採なし

1

点 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
変化率					
一点当り		点			
*** 単位当り ***	1	点			
A=6 4級新設(永久標識設置なし・伐採なし)			B=3 市街地乙/平地		



# 施工単価表

仮BM設置測量  
市街地乙/平地

SC090

単第0 -0003 表

1

km 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量技師 (外業)	1.0	人			外業
測量技師補 (外業)	1.2	人			外業
測量助手 (外業)	0.9	人			外業
測量技師	0.4	人			内業
測量技師補	1.1	人			内業
測量助手	0.3	人			内業
直接人件費計					
機械経費	2.5	%			#01 直接人件費 × 率
材料費等	2.0	%			#02 直接人件費 × 率
精度管理費	10	%			#03 (直接人件費+機械経費) × 係数
変化率					
*** 単位当たり ***	1	km			



# 施工単価表

路線測量(縦断測量)  
市街地乙/平地

SC074

単第0 -0004 表

1

km 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量技師 (外業)	1.6	人			外業
測量技師補 (外業)	1.8	人			外業
測量助手 (外業)	1.4	人			外業
測量技師	1.3	人			内業
測量技師補	1.1	人			内業
測量助手	0.5	人			内業
直接人件費計					
機械経費	2.5	%			#01 直接人件費 × 率
材料費	3.0	%			#02 直接人件費 × 率
精度管理費	10	%			#03 (直接人件費+機械経費) × 係数
変化率					
*** 単位当たり ***	1	km			



# 施工単価表

路線測量(横断測量)  
幅 45m未満

SC076  
測定間隔 20m

単第0 -0005 表

1 km 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量技師 (外業)	6.4	人			外業
測量技師補 (外業)	7.2	人			外業
測量助手 (外業)	5.3	人			外業
測量技師	3.9	人			内業
測量技師補	3.4	人			内業
測量助手	1.5	人			内業
直接人件費計					
機械経費	2.5	%			#01 直接人件費 × 率
材料費	2.5	%			#02 直接人件費 × 率
精度管理費	10	%			#03 (直接人件費+機械経費) × 係数
変化率					
*** 単位当たり ***	1	km			



# 施工単価表

路線測量(横断測量)  
幅 45m以上~75m未満

SC076  
測定間隔 20m

単第0 -0006 表

1 km 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量技師 (外業)	6.4	人			外業
測量技師補 (外業)	7.2	人			外業
測量助手 (外業)	5.3	人			外業
測量技師	3.9	人			内業
測量技師補	3.4	人			内業
測量助手	1.5	人			内業
直接人件費計					
機械経費	2.5	%			#01 直接人件費 × 率
材料費	2.5	%			#02 直接人件費 × 率
精度管理費	10	%			#03 (直接人件費+機械経費) × 係数
変化率					
*** 単位当たり ***	1	km			





# 施工単価表

現地測量  
測量面積0.006km<sup>2</sup>

SC000023  
市街地乙/平地 縮尺 1/ 500

単第0 -0008 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量技師 (外業)	1.952	人			6.1*0.32
測量技師補 (外業)	3.008	人			9.4*0.32
測量助手 (外業)	2.624	人			8.2*0.32
測量主任技師	0.096	人			0.3*0.32
測量技師	0.992	人			3.1*0.32
測量技師補	2.560	人			8*0.32
直接人件費計					
機械経費	5.0	%			#01 直接人件費 × 率
通信運搬費等	0.5	%			#02 直接人件費 × 率
材料費	2.0	%			#03 直接人件費 × 率
精度管理費	5	%			#04 (直接人件費+機械経費) × 係数
変化率					











# 施工単価表

管路施設実施設計業務（基本設計）  
分流式（雨水のみ）

V000000100

単第0 -0013 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
資料収集	1	式			単第0-0014 表
現地踏査	1	式			単第0-0015 表
地下埋設物調査	1	式			単第0-0016 表
設計計画	1	式			単第0-0017 表
流量断面計算	1	式			単第0-0018 表
概略工法検討	1	式			単第0-0019 表
図面作成	1	式			単第0-0020 表
照査	1	式			単第0-0021 表
全体割増		式			
*** 単位当たり ***	1	式			























# 位置図

S=1:10000

業務委託箇所

